



地域密着型特別養護老人ホーム わが家ひだまり外観

安藤 修

Ando Osamu

社会福祉法人ひだまり
本郷拠点
業務執行理事兼経営推進部長

◆座右の銘

「知足安分」

◆人生信条

「深く穴を掘れ、穴の直径は自然に広がる」



「ひだまりで暮らす、ひだまりで育つ—ご利用者様も働く人も、皆が主役」

■法人概要

社会福祉法人ひだまりは、20年前にNPO法人として設立され、現在では滋賀県米原市を中心に多岐にわたる福祉サービスを提供しています。高齢者介護、障がい者支援、訪問看護ステーション、さらには有償運送まで、幅広いサービスを展開し、地域社会に貢献しています。創業者である永田理事長の明確なビジョンのもと、160名以上の専門職を含む献身的な職員が活躍しています。

■私の役割

私は、業務執行理事兼経営推進部長を務めておりますが、私自身もこの素晴らしいチームの一員として、日々の業務に全力を尽くしています。私の主な役割は、法人の方向性を微力ながらお手伝いすることです。具体的には、経営戦略の策定や実行に関わっていますが、これは全スタッフの協力があってこそです。また、各部門の進行状況を見守り、必要な

場合にはアドバイスさせたいこともあります。これに関しても、真の成功は現場のスタッフの努力によるもので、私はそのサポートをする立場です。

日々の人材育成にも関わっていますが、優秀な幹部職員たちが多くおかげで、私の役割はそれほど大きくありません。しかし、やる気のある職員たちに、活躍と成長の機会を提供するのは、非常に喜びの多い仕事です。私はこのような意義ある職務に従事できることを誇りに思っています。

■人材育成と確保の取り組み

ひだまりでは、在宅生活を支える地域社会に密着した全方位的な福祉サービスを提供することをビジョンとして掲げています。このビジョンを実現するためには、いくつかの重要な課題に対応する必要があります。その中でも特に深刻なのは、少子化による労働力不足です。この問題は介護業界全体に影響を与え、今

後さらに深刻化していくことは明白です。このような状況に適切に対応するため、多様性と柔軟性を中心に据えた取り組みを行っています。その一つに、保有資格や介護経験よりも積極的な意欲を重視して、初心者からベテランまで安心して働ける環境を整えています。

特に、働くママさんたちに対しては子ども都合による急な欠勤OKなど、職場全体で協力姿勢を示したり、育児支援制度を整えたりしています。また、能力や意欲のあるシルバー世代には定年年齢にとられない働き方を受け入れるなど、働く機会を広げています。さらに、外国籍の職員も積極的に採用し、多様なバックグラウンドを持つ人たちも受け入れています。

その他、ベテラン職員によるサポーター制度を導入するなど、新入職員でも安心して働くことができ、スキルアップできるようにしています。中堅社員に対しては、経営研修、リーダーシップ研

修等を実施し、次世代の幹部職員を育てています。これらの取り組みは理事長が専門のコンサルタントとともに直接監修し、その効果を確認しています。そして、職員一人ひとりが成長できるように、多くの研修プログラムや制度を用意し、可能な範囲で就業中に参加できるように配慮しています。

ところで、米原市の生産労働人口は、2040年までに約3割減少すると予測されています。この厳しい状況に対応するため、私たちは独自のアプローチを考案しています。まず、労働人口の減少する10%に相当する部分を外国人の積極的な採用で補います。多様な文化背景を持つ人材が集まることで、新しい価値を生み出す可能性が高まります。次の10%は、離職防止をはじめ多角的な採用戦略で対応します。具体的には、WEBサイトの改善、採用スキルの強化、リファラル採用の推進、オーダーメイド雇用の促進、そして高齢者

の雇用によって、不足する人材を確保します。

さらに、最後の10%については、業務効率化と事業所間連携の強化で対応します。必要な職員数を時間当たりで算出したり、各事業間での人員の融通を強化したりすることで、少ない人数でも効率的な業務運営を目指しています。ICT機器やソフトウェアの導入も積極的にを行い、業務プロセスを最適化します。

このような総合的なアプローチにより、労働人口の減少という難題に正面から向き合い、かつ戦略的に対応していくとと考えています。これは、私たちひだまりが持続可能な成長と高品質なサービスを提供し続ける基盤を築くための方針です。

労働力不足とともに、我々が直面している主要な課題の一つは、収支差額、すなわち利益の確保です。特に、公的補助金などの金銭的支援が減少している中で、事業者自身が持続可能な経営力と資金力を確保することが求められま

す。この点においても、人材育成は不可欠です。経営の専門性を高めるため、外部のコンサルティング会社に1年間の経営研修プログラムを委託しています。この研修を通じて、経営視点を持ち、戦略的に考えられる人材を育成することが目的です。

■これからのビジョン

新たな事業展開も並行して進めています。具体的には、市内にサテライト事業所を設立することで、地域における事業地盤の強化を図っていきます。さらに、隣接する市にも事業を拡大する検討を始めしており、その地域の医療関係機関や福祉事業者とも積極的に連携していく方針です。

地域での高齢化が進み、在宅ニーズが高まっていく中で、我々のサービスがより多くの人々に受け入れられるよう継続的に質を高め、拡大していくことは、ひだまりが目指す地域社会に根ざした、在宅を中心とした全方位的な福祉サービスの実現につながる

と確信しています。

これからも、人材の育成と新たな事業展開を通じて、持続可能な成長を遂げられるよう努力を続けます。地域社会に必要とされ、また、福祉事業を通して地域社会に貢献できる事業者であり続けることが我々の目標です。

■最後に

社会福祉法人ひだまりは現在、そして将来を見据えた地域貢献を目指していますが、私たちは自らを単なる「福祉サービスの提供者」とは限定せず、地域社会全体の福祉力向上にも貢献できる存在として位置づけています。これはひだまりが目指す姿であり、そのために私たちは日々全力で活動を続けています。

私たちのサービスが、一人でも多くの人々に希望と笑顔を提供できるように、様々な事業や活動を展開していきます。それは地域の高齢者だけでなく、障がいを持つ人々や子どもたちにも焦点を当て、多世代にわたる包摂的な福祉を実現することが目的です。また、地域社会と共に成長し、経営面でも柔軟かつ戦略的なアプローチを探っています。新しい福祉技術の導入やパートナーシップの形成、さらには地域イベントの開催など、多角的な取り組みで地域との結びつきを強化しています。

私たちは、これからも継続的に発展していくために全力で取り組んでいく所存です。



共生型多機能拠点施設（近江事業所）外観